

A+プラスファンド

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として国内外の金融商品取引所に上場する株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年5月13日～2025年11月10日

| | | |
|------------------------|-----------------|-----------|
| 第18期 | 決算日：2025年11月10日 | |
| 第18期末 (2025年11月10日) | 基 準 価 額 | 23,546円 |
| | 純資産総額 | 14,677百万円 |
| 第18期 | 騰 落 率 | 19.7% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 謄落率は分配金再投資基準価額の謄落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

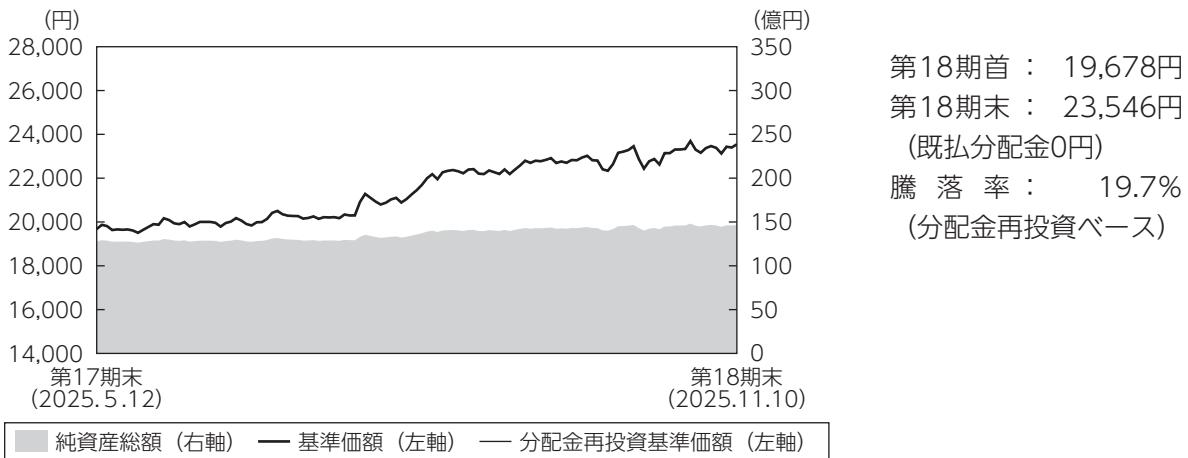
お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国との関税交渉の進展や米株高、自民党総裁選で積極財政を掲げる高市候補が勝利したことなどから国内株式市場が上昇し、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第18期 | | 項目の概要 | |
|-------------|------------------------------|---------|--|--|
| | (2025年5月13日 ～2025年11月10日) | | | |
| | 金額 | 比率 | | |
| (a) 信託報酬 | 108円 | 0.505% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は21,490円です。 | |
| (投信会社) | (50) | (0.230) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 | |
| (販売会社) | (53) | (0.247) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 | |
| (受託会社) | (6) | (0.027) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 | |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.002 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 | |
| (株式) | (0) | (0.002) | | |
| (先物・オプション) | (0) | (0.000) | | |
| (c) その他費用 | 0 | 0.001 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 | |
| (監査費用) | (0) | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 | |
| 合計 | 109 | 0.508 | | |

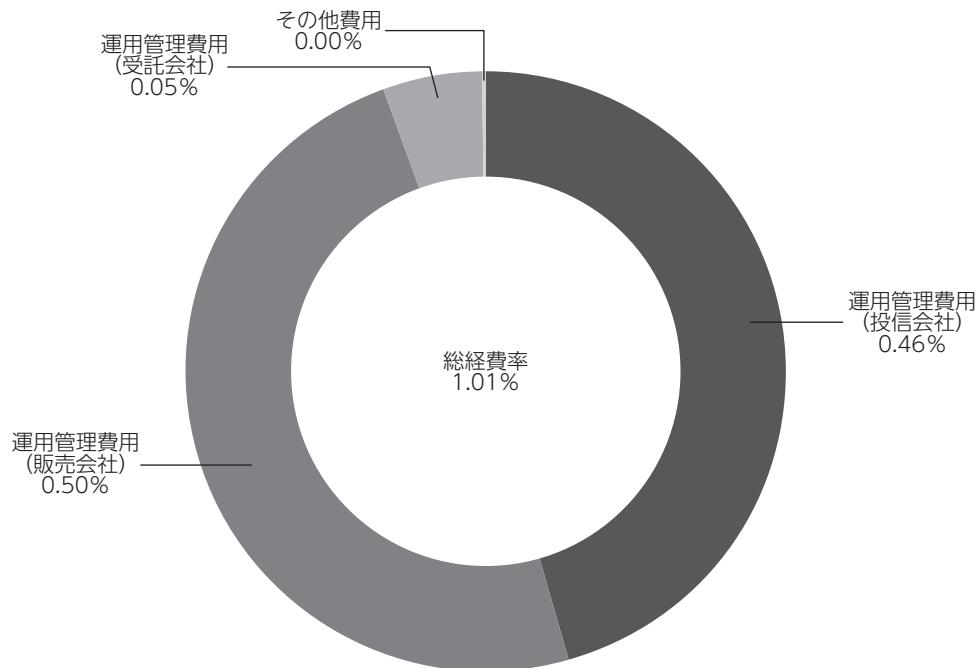
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)**◆総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.01%です。



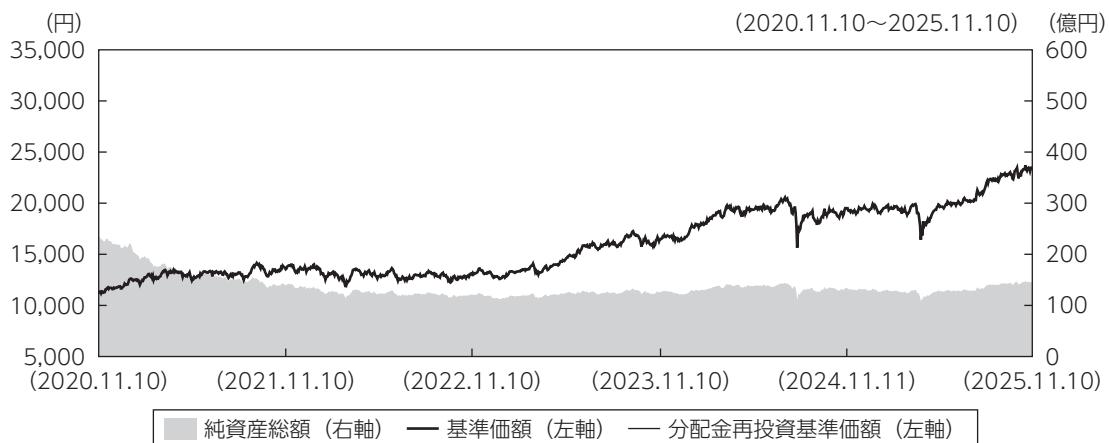
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年11月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2020年11月10日 期首 | 2021年11月10日 決算日 | 2022年11月10日 決算日 | 2023年11月10日 決算日 | 2024年11月11日 決算日 | 2025年11月10日 決算日 |
|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額（分配落） (円) | 11,171 | 13,536 | 13,033 | 16,505 | 19,488 | 23,546 |
| 期間分配金合計（税引前） (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | 21.2 | △3.7 | 26.6 | 18.1 | 20.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 23,173 | 13,884 | 12,031 | 12,642 | 13,358 | 14,677 |

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初は、米国との関税交渉が進展し不透明感が払拭されるにつれ、上昇する展開となりました。その後も、米国の利下げ観測の高まりを受けた米国株高などが好感され、上昇基調で推移しました。2025年10月には、自民党総裁選で積極財政を掲げる高市候補が勝利したことなどが好感され、一段高の展開となりました。

ポートフォリオについて

ビッグデータの解析や人工知能（A I）の活用を通じて、今後の株価上昇が高い確度で予測される銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|----------------------------|
| | 2025年5月13日 ～2025年11月10日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －% |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 13,546円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切り捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き、ビッグデータの解析や人工知能（A I）の活用を通じて、今後の株価上昇が高い確度で予測される銘柄の組入れを行うことにより、中長期的な信託財産の成長を図る方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

- 委託会社が「PayPayアセットマネジメント株式会社」から「アセットマネジメントOne株式会社」に変更となりました。
- ファンドの名称が「PayPay投信A+プラス」から「A+プラスファンド」に変更となりました。
- 信託事務等の諸費用において、法定開示にかかる費用を「ファンド負担」から「委託会社負担」に変更しました。
- やむを得ない事情が生じた場合に、販売会社で受けたファンドの取得・一部解約の申込みを委託者が取り消すことができる旨の追加を行いました。
- 電子公告のアドレスを<https://www.am-one.co.jp/>に変更しました。

(2025年8月12日)

当ファンドの概要

| | |
|---------|---|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信 託 期 間 | 2016年12月20日から無期限です。 |
| 運 用 方 針 | 中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 主として国内外の金融商品取引所に上場する株式に投資を行います。 |
| 運 用 方 法 | <p>①委託会社が有効と考えるビッグデータの解析や人工知能（A I）の活用等を通じて、今後の株価の上昇（市場平均を上回る上昇を含みます。）が高い確度で予測される銘柄の組入れを行うことを基本とします。 ※株式への直接投資に代えて、株式に関連するデリバティブ取引（株価指数先物取引等を含みます。）等を使用する場合があります。</p> <p>②委託会社が有効と考えるビッグデータの解析やA Iの活用等を通じて、継続的な運用の強化・充実を図ります。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。</p> |
| 分 配 方 針 | 毎決算期（原則として毎年5月および11月の各10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行う方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行います。 |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年11月～2025年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファン
ドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指標

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BP国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指標は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指標については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞をご参考ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年11月10日現在）(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆組入上位10銘柄（現物）

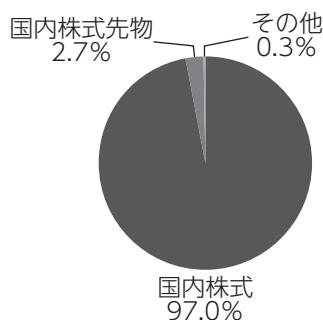
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|------|-------|
| ソニーグループ | 日本・円 | 4.5% |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 日本・円 | 3.1 |
| トヨタ自動車 | 日本・円 | 3.0 |
| みずほフィナンシャルグループ | 日本・円 | 2.9 |
| 日立製作所 | 日本・円 | 2.5 |
| 住友商事 | 日本・円 | 2.2 |
| 本田技研工業 | 日本・円 | 2.1 |
| 日本郵政 | 日本・円 | 1.7 |
| SBIホールディングス | 日本・円 | 1.7 |
| リコー | 日本・円 | 1.5 |
| 組入銘柄数 | | 166銘柄 |

◆組入上位銘柄（先物）

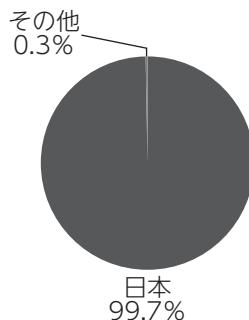
| 銘柄名 | 売買 | 比率 |
|-------|----|------|
| TOPIX | 買建 | 2.7% |
| 組入銘柄数 | | 1銘柄 |

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

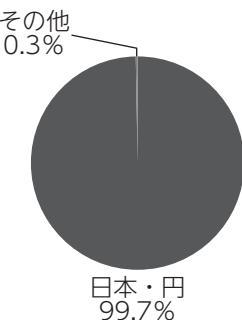
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注2) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|-----------------|
| | 2025年11月10日 |
| 純資産総額 | 14,677,291,002円 |
| 受益権総口数 | 6,233,408,201口 |
| 1万口当たり基準価額 | 23,546円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は356,089,104円、同解約元本額は626,902,217円です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞

- 「東証株価指数（T O P I X）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指標の指標値および同指標にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利・ノウハウおよび同指標にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。
- 「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、日本を除く世界の主要先進国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指標で、新興国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指標です。同指標の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「F T S E 世界国債インデックス（除く日本）」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指標に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。
- 「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指標です。同指標に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

